

学習内容報告書 フォーマット

学校名	石巻市立雄勝小学校
授業者	今野那菜（1年担任）阿部秀憲（2年担任）齋藤卓弥（2年特支学級担任） 早坂峻（3・4年担任）齋藤咲花（5・6年担任）

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海を守る「しっかり見つめよう・考えよう」

1-2. 学年

全学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活・社会・総合的な学習

1-4. 単元の概要

- ・清掃活動……海浜清掃を通して、ごみ問題への関心を高める。【社会・総合】
- ・MAPづくり……学区内を巡って気付いたことや多くの人に知らせたいことを地図にまとめ、雄勝のよさや魅力を多くの人に伝えられるようにする。【社会・総合】
- ・間伐体験……雄勝めぐりでの皮むき間伐体験の活動を通して、森と海のつながりについて知り、自分にもできる活動に取り組もうとする意欲を育てる。【社会・総合】

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校は、旧雄勝町全域（雄勝半島全域）が学区であり、震災による被害が非常に大きかった地域である。徐々に復旧が進んでおり、学校前に砂浜が、近隣や学区内の各所には漁港や防潮堤が整備されている。養殖漁業や沿岸漁業も活気を取り戻しつつあり、多くの人々が子供たちに「ふるさとを愛する心情をもってほしい」と願っている。身近な海をフィールドにした体験活動と探究活動を通して、主体的で深い学びへと導くとともに、ふるさとを愛する心情を育てていきたいと考えている。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・海をフィールドにした体験活動を、継続的に実施することで、様々な問いや疑問が生まれ、探求的で深い学びへと発展すると期待できる。
- ・ふるさと雄勝の魅力やよさを実感することで、雄勝を誇りに思う気持ちが少しずつ生まれ、ふるさとを愛する心情の育成が期待できる。
- ・身近な海を見る多様な視点や感じる心情を育てていくことで、行動しようとする意欲が高まり、海との関りの中で自分にできることを考えようとする心情が育まれると期待できる。

1-7. 単元の展開（全10時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
時数なし	<p>清掃活動</p> <p>◇清掃活動を通して、漂着ごみや海洋プラスチックなど、海洋ごみ問題に関心をもつ。</p> <p>◇関心をもったことを各自調べる。</p> <p>「昨年度は、海洋プラスチックについて学習。」</p> <p>◇雄勝めぐり等、浜活動のたびに清掃活動を実施する。</p>	<p>【活動時期 通年】</p> <p>準備軍手、ごみ袋</p> <p>指導分解されるごみと分解されないごみ、近隣から流れ着いたごみと遠方から漂着したごみなど、状況に応じて調べる観点を示し、意見交換する。</p> <p>評価清掃活動を通して、漂着ごみの種類や量など、海洋ごみ問題に関心をもつことができたか。</p>
5	<p>MAPづくり</p> <p>◇学区内を巡って気付いたことや多くの人に知らせたことを地図にまとめ、雄勝のよさや魅力を多くの人に伝えられるようにする。</p> <p>①1回目の地区を巡る活動を通して、学習したことを、地図にまとめる。どのような地図にしたいか、どのようなことに気を付けて地図を作成していくか話し合う。</p> <p>②地区を巡る活動で新しい地区を巡るごとに、地図を更新していく。</p> <p>③道の駅や公民館等に掲示を依頼し、多くの人に見てもらえるようにする。</p>	<p>【活動時期 5～11月】</p> <p>準備模造紙、マジックペン、地区を巡った際の写真</p> <p>指導地区を巡って学習した内容を多くの人に発信することを説明し、児童の意欲を高める。</p> <p>「雄勝の魅力」や「各地区で行われている漁業」「伝統の硯産業」など、地区を巡ったときの様子を想起させ、児童の興味関心を高める。</p> <p>国語や社会の学習をMAPづくりに活用できるようにする。</p> <p>評価意欲的に協力してMAPづくりに取り組むことができたか。</p> <p>学習したことがよく分かるように絵や文章など表現方法を工夫して地図にまとめることができたか。</p>
4	<p>間伐体験</p> <p>◇海を守る活動の一環として、学区内の「モリウミアス」を訪問し、森と海のつながりについて学習するとともに皮むき間伐体験を行う。</p> <p style="text-align: center;">【総合】</p> <p>①森と海の関係、皮むき間伐の効果について説明を聞く。</p> <p>②モリウミアス近隣の山林に入り、皮むき間伐体験を行う。</p> <p>③活動を振り返る。(感想発表、お礼の手紙等)</p>	<p>【活動時期 9月】</p> <p>準備軍手、体育着、水筒</p> <p>指導おいしい魚やホタテなど海の恵みをこれからも受けていくためには、どんなことが必要か考えさせる。</p> <p>豊かな海にするために森林を守るための方法の一つとして、皮むき間伐という方法があることを知らせ、その方法を指導する。</p> <p>評価海を守る活動への関心を高め、皮むき間伐に取り組むことができたか。</p> <p>外部モリウミアス</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- ・海と森のつながりについて知り、森林の保全活動に取り組む意義について知る。
- ・森林保全の方法の一つとして、皮むき間伐という方法を知り、実際に体験してみる。
- ・森林の環境保全活動を通して、環境を守る活動への関心を高める。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 モリウミアスにバスで到着後、活動の準備をし、オリエンテーションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長袖の衣服や軍手の着用など活動の準備をする。 ・整列し、活動の世話をしてくれるモリウミアスの方々に挨拶を行う。 ・森と海のつながりについて話を聞く。 ・皮むき間伐の方法について説明を聞く。 森と海って関係があるのか。 間伐って何？ どんなことをするの？ <p>2 森林に移動し、皮むき間伐体験を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モリウミアスの方の手本を見て、実際に間伐体験に取り組む。 ・のこぎりで皮の部分进行切り、木の皮を引っ張ってはがす。安全に活動できるように、周囲に気を付けながら、協力して皮を引っ張る。 ・引っ張ってはがした木の皮は、おみやげとして持ち帰ってもよい。 <p>3 モリウミアスに移動し、活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想発表やお礼の挨拶を行う。 ・子供たちの頑張りや皮むき間伐の効果について、モリウミアスの方に話をしてもらい、達成感を高めるとともに、今後の活動への意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・けがや虫刺されなどが心配されるので、肌の露出が少ないように、子供たちの服装を確認する。 ・モリウミアスの方の話の中で、難しい部分があるときには、低学年の子供でも理解できるように補足する。 ・どんなことをするんだろうね、と子供たちのつぶやきに共感し、活動への興味関心を高める。 ・のこぎりの使用、軍手の着用、周囲への配慮など、子供たちの安全に関することについて、しっかり確認するとともに、活動中も危険な場面がないように配慮する。 ・高学年の子供たちに対しては、会話を通して、木の皮を剥くことで間伐につながるという仕組みへの理解を深めさせる。 ・活動の中で、よい気付きのあった子供が積極的に感想発表できるように励ます。 ・モリウミアスの方の話を受け、今後も雄勝のよい環 <div data-bbox="1161 1160 1487 1377" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1161 1637 1487 1854" data-label="Image"> </div>

<p>4 学校に戻り、活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 感想をまとめ、お礼の手紙を書く。 中学年以上の子供たちには、今回の方法以外にも環境を守る方法がないか考えさせる。 発達段階に応じて、環境に関する調べ学習へとつなげる。 	<p>境を守るよう学習を続けていくことを話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年や発達段階に応じて、森と海のつながりについて理解が深まるように子供たちの気付きや感想を補足する。 <p>※森と海のつながりについて理解できたか（記述）</p> <p>※環境保全への関心を高めることができたか（記述）</p>
--	---

3. 今回の活動の自己評価

<ul style="list-style-type: none"> 皮むき間伐という新しい体験を取り入れた。これまでは、海をフィールドにした活動ばかりであったが、森林にも目を向けさせることができるよい活動になった。 地域のNPOの協力を得て、活動を実施することができた。次年度以降も続けていきたい活動である。 安全に活動を実施することができた。また、木の皮を持って帰ることができ、子供たちは大喜びであった。 活動の成果が見えるまでに時間がかかる活動であるので、継続的な活動にしていきたい。

4. 今後の課題

<ul style="list-style-type: none"> 市バスの活用等、移動手段の確保が必要な活動である。年度当初に計画を立て実施できるようにしたい。 探求学習に発展させ、活動の成果を子供たちにも理解させることが必要である。時数を確保し、皮むき間伐をきっかけに環境保全に対する理解を深められるようにしたい。
--

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

<ul style="list-style-type: none"> 特になし。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。